館報 白根

編集発行人 宮崎佐喜男
新潟県白根市
発行所 白根市中央公民館
印刷所 笹勇印刷所

市の戸籍	11月30日現在
人口	37,310人
世帯数	6,012
(4月以降)	
出生	568人
死亡	217人
結婚	446件

新国道、着工は明年?

市街地(白根)の路線決まる

買収価、最高は坪九千円

「白根—東京」間の最短距離のキャッチ・フレーズで市民の間にセンセイショナルな話題をふりまいた新国道は市の心臓部ともいうべき白根地区市街地の測量を完了し、建設省が買収価格を提示という本格的段階に入りました。買収価格は坪当り最高九千円で最低は一千五百円の八等級に分れており、買収交渉さえまとまれば来春には着工するという、身近かな問題となり、新国道の建設はハイ・ピッチに計画が進められています。

昭和三十二年、舘報紙上で新国道の全容を紹介してから、市民の大きな関心と期待が、寄せられてきた新国道の建設も、ようやく「買収交渉」という身近かな問題となって現われ、再び市民の前にクローズ・アップされる段階にきました。

新国道の白根地区中心部の路線は地図の通りですが、中央通りから北側は白根小学校より百㍍手前まで、南側は仙庵小路までの間の測量はすでに終り、これを基点として南北に延長してゆく方針のもようです。

新国道は当初の計画より十数㍍東側を走ることになります。これは将来、新飯田まで直線道路をつくるという前提のもとに移動したわけで、いまのところ戸頭萱場辺から堤防を利用するらしいのです。

この測量が完了した区域の土地、建物などの所有者には、買収される土地の地籍確認書と建物、物件などの物件確認書などが建設省から交付され、買収交渉をまつばかりになっています。物件などは勝手口の下水の渡し板の厚さ、長さ、巾まで調べるなど、かなり細部まで調査しています。

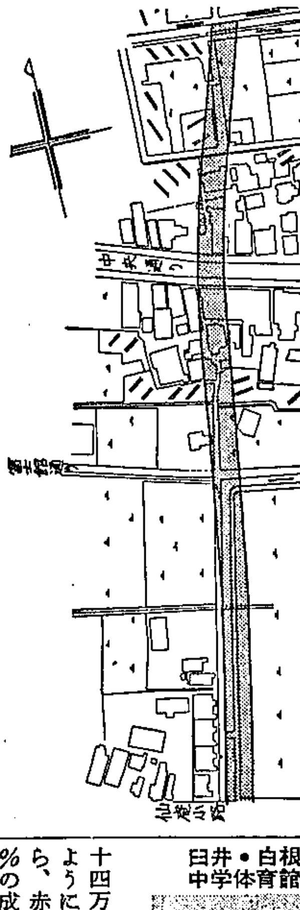
新国道の建設は急ピッチ

土地買収については十二月十一日、市商工会で建設省の土地の買収価格が公表されました。それによると県道ぞえの土地を一級地とし、現在の土地の利用価値によって以下二級、準二級、と七級までとなり、坪当りの八階級になっていますが、市道と国道がクロスする角地は一割増となります。

1級	9,000円
2級	7,000円
準2級	6,000円
3級	4,500円
4級	3,500円
5級	3,000円
6級	2,000円
7級	1,500円

しかしこれは測量完了分だけの価格で、他の区域ではそれぞれ価格はちがうわけで、また建設省が「このくらいで売ってくれまいか」という買入れ申込みの価格なのですから、これから土地所有者と交渉して「売りましょう」「買いましょう」と両者で折り合つたとき、ほんとうの買収価格が決まることになります。建設省ではこの買収交渉をできれば年内にまとめたい意向のようすで、買収さえ終れば、国で予算化するのですぐにも道路建設に着手し完全な道路(未ほ装)に仕上げたい方針です。物件、建物についてはすでに所有者と個々に交渉に入っていますので新国道は本格的段階に入ったわけです

新国道の確定部分地図



写真コンクール

日ざし

初冬のやわらかい日ざしを、いっぱい浴びて、こどもたちが山門で遊んでいます。ことしも暖冬のもよう。もうすぐお正月——吹く風は冷く、冬は足早に近づいています。五年続きの豊作で農村の表情は明るく、冬の日ざしはこどもたちにとって天国です。

撮影 安澤宏(鷲巻)
カメラ ニコンS、フイルム ネオパンSS、絞りF8、シャッター1/250

市の告知板

来春入学前の児童の父兄へ
1月中旬に通知書を発送

昭和35年に小・中学校に新入学する児童のある家庭では入学準備のための種痘やジフテリヤの予防注射をされたこととおもいますが、小学校に入学する児童は昭和28年4月2日から同29年4月1日までの出生児で、中学は昭和22年4月2日から同23年4月1日までの間の児童です。

各家庭へは入学通知を1月中旬に出しますが、もし前記の期間の出生児で通知がなかったら1月30日までに各地区駐在室へ、白根地区は直接教育委員会事務局に申し出てください。なお、就学猶予のお子さんは教委事務局に連絡してください。【教育委員会】

白根 火葬場、重油で焼却
12月16日から使用

12月から使用するはずだった白根火葬場は工事の都合で12月16日から使用できることになりました。

当初、いままでのとおりマキで処理する予定でしたが、計画を変更して重油バーナー焼却するようにしたためにおくれたもので、これにより焼却時間は1時間30分くらいになります。【厚生課】

代表電話701番に
市役所の電話番号

市役所では事務が多忙のため701～706番までの電話を増設し代表電話は701番となりました。みなさんに長い間、親しまれてきた「1番」も市役所のわけですが、701番が代表電話となったのですから、できるだけ701番で市役所を呼ぶようにしてください。【電報電話局】

保険証の人員
家族の移動は早く届出を

国民健康保険の被保険者証は家族全員(社会保険の被保険者生活扶助を受けている人、1月1日以後社保の被保険者となった人は除かれます)の氏名が記入されていますが、出生、死亡、結婚、転出などで家族に移動のあったときは、市役所か駐在室に被保険者証と印鑑を持って申し出てください。

不在の人がそのまま記入されていると、保険税がその人員で賦課されますし、居住している人が記入されていないと医療費の全額を負担するようなことになりますので実際の家族と被保険者がつねに一致しているように注意してください。【保険課】

年賀状23日まで発送を
おもてに年賀と朱書き

年賀状をまとめて出すときはヒモで十字にたばね、その上に「年賀」と書いた紙片をそえてください。また私製ハガキで年賀状を出すときは「年賀」と朱書きしてください。

また年末で混雑しますので12月23日まで郵便局にお出しください。また宛名はできるだけ詳しく、はっきりと正確に記入してください。【郵便局】

市の決算

三十三年度 赤字は二千五百万円に
前年より五百三万円減

一般会計

昭和三十三年度一般会計の市の収入総額は一億八千五百六十四万円、支出総額は二億五百二十六万円で、計算的には一千九百六十二万円の赤字でしたが白根中学校の第二期工事が三十三年度に完成せず三十四年度に一部が繰越されたのでその国庫補助金の一部二百四十三万円が三十四年度の収入となりこの額を計算上の赤字から差引きさらに三十三年度に支払うべき債務を三十四年度に繰延べした七百九十四万円を加えた額、二千五百十三万円が実際上の赤字となったわけです。この額は三十二年度の赤字総額三千十六万円と比べると五百三万円の赤字が減少したことになり、これだけ単年度黒字がでたことになります。また財政再建計画では三十三年度中に八百六十四万円の赤字を解消するようになっていたのですから、赤字解消は五十八・二%の成績ということになります。

これは三十三年七月に大きな水害に見舞われ、約四百万円の支出があったこと、市税の徴収率が悪く、予算より五百万円も収入減となったことなどによるものです。

市の支出の中三十三年度の事業費は五千五百二十四万円で総支出の二十七%で県内の市平均より六%下回りますが、再建計画の赤字を解消するために年年約九百万円を注いでいますから赤字が解消すれば、この分を事業費に投入できるので、県平均のレベルに近づけるものとおもわれます。

昭和33年度市の一般会計決算の状況 (単位千円)

市の収入

科目	予算額	実際の収入
市税	108,102	103,664
地方交付税	28,028	33,966
財産収入	29	18
使用料手数料	4,980	5,071
国庫支出金	13,472	10,648
県支出金	1,753	3,531
寄附金	1,251	883
繰越金	150	150
雑収入	10,537	10,508
市債	18,700	17,200
計	187,002	185,639

市の支出

科目	予算額	実際の支出
議会費	3,392	3,164
役所費	37,489	37,323
消防費	9,452	8,900
土木費	10,496	10,120
教育費	65,191	60,168
社会労仂費	9,590	8,761
保健衛生費	5,240	4,854
産業経済費	25,306	23,477
財産費	655	610
統計調査費	289	159
選挙費	916	633
公債費	8,376	8,376
諸支出金	39,612	38,721
予備費	3	
計	216,007	205,266

特別会計

国保会計は収入四千八百三十二万円、支出五千七百五十万円で九百十八万円の赤字となっていますが、三十二年度の赤字は一千七十三万円だったのですから、百五十五万円赤字が減ったことになりますが。

このように赤字が出たわけは保険税の収入に対して保険給付率が多く、バランスがとれない②保険税の徴収成績が悪いなどの理由によるものです。

昭和33年度特別会計決算の状況

会計別	予算額	決算額
国民健康保険	48,322	57,506
診療施設	10,868	10,798
公益質屋	2,300	2,216
白根地区上水道	37,086	38,958
大郷地区簡易水道	3,226	3,208
新飯田地区 〃	1,184	824
茨曽根地区 〃	2,774	3,201
臼井鷲巻地区 〃	8,631	8,604
北部水道	1,170	1,568
合計	115,561	126,883

臼井・白根中学体育館 明春には完成

工事中の白根中体育館

待望の白根中学校の体育館の新築工事は、本年度の国の補助事業として、八月十五日に着手し、工事が進んでいます。体育館は、約八百平方㍍、鉄骨建て。また臼井中学校体育館も八月中旬に着工し、進工中ですが大きさは約五百三十平方㍍鉄骨建て、いずれも明春三月末日に完成の予定です。

伝染病院を新設か

市では伝染病隔離病舎は老朽し、維持費などの理由から、健生病院へ併設するよう関係各方面へ陳情をつづけていますが、これは味方、月潟中之口村を含めた一市三か村の組合立で運営されるもので、予算は八百万円の予定です。

民生委員の改選

民生委員が改選になりました。白根市で新らしく民生委員となられた人は次のとおりです。**白根**川瀬平一郎、関根節、星野達一郎、内山謙助、谷太一郎、星野下枝、笹川喜一郎、外山ノブ、生野藤平、渡辺ミネ、田村平造、**新飯田**小林庄吉、知野太一、斉藤慎治 **茨曽根**鳥木鉄眠、小池三郎、長谷川イシ **庄瀬**島倉平悦、真保菊枝、西山了空、狩谷ノリ、星勉、**小林**鈴木虎雄、藤宮新朔、大熊イネ **臼井**長沢一衛、原喜一、五十嵐伊三郎、遠藤庄一 **大郷**広野忠作、渡辺美代一郎、中山太郎、坂井賢輔 **鷲巻**小林猪虎二、籠島島雄、武藤真竜、岡村鷹一 **根岸**長谷川常吉、渋谷俊治、田中秀雄、平山廓雄

総額十一万円に 伊勢湾台風の義えん金

伊勢湾台風の市関係義えん金は福祉事務所で取扱っていますが、十二月十八日現在の地区別の義えん金額は次のとおりです(単位円)

34年12月18日現在

地区	金額
新飯田	6,265
庄瀬	9,173
臼井	9,785
大郷	8,931
鷲巻	7,215
根岸	7,735
白根	44,642
小林	13,545
茨曽根	8,553
計	115,844